

あの頃の

思い出



誇らしかった仲間の姿

中村 順子 (62) 昭50卒、秋田高同窓会副会長

マネジャーから見た甲子園



なかむら・よりこ／昭和31年8月、仙北市角館町生まれ。54年聖路加看護大学卒業後、聖路加国際病院内科病棟に勤務。60年から東京都世田谷区衛生部で訪問看護を始める。その後、在宅ケアの領域で訪問看護師やケアマネジャーとして実践を続ける。平成19年10月から秋田に帰り、看護教育の現場へ。日本赤十字秋田短期大学准教授。20年聖路加看護大学大学院博士前期課程修了、23年青森県立保健大学大学院博士後期課程修了。25年から秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授・医学系研究科附属地域包括ケア・介護予防研修センター長。29年6月から秋田高校同窓会副会長。

25年から秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授・医学系研究科附属地域包括ケア・介護予防研修センター長。29年6月から秋田高校同窓会副会長。



甲子園のアルプススタンドで応援する筆者(右) =昭和48年8月。左の写真とも筆者提供

現在では硬式野球部の女子マネジャーは珍しくなく、「もしドラ(もし高校野球の女子マネジャーがドラッグ)の『マネジメント』を読んだら」

「食事の準備」がマネの役割

昭和48年は秋田高校創立100周年の記念の年でした。甲子園の第1回大会で準優勝をした名門秋田高校野球部は、「100周年の時に甲子園出場を！」との周囲からの期待に見事応えて出場権を獲得したのでした。しかも開会式で、高木昇主将が選手宣誓するという県勢初の記念すべき出来事もありました。

でも分かるように、チームのマネジメントを行う重要な役割を担っているのだと思います。しかし、当時は残念ながらそのような役割など期待されず、私たち自身も自覚はありませんでした。

では、その主な役割は何であったかと言いますと……。何といっても「食事の準備要員」です。度々行われる合宿の時、私たちの力が発揮されるのでした。特に甲子園を目指す夏の合宿は、負ける日までのガチンコ合宿。私たちも気合が入ります。

この食事の準備を通して、15歳から18歳という多感なときに、人のために食事を準備し、喜んでもらうという貴重な体験を得ることができたのです。このことは私の人生に少なからず影響を与えたと感じています。

汗だくで特大ステーキ焼く

わがチームはOBや地域から、いろいろ差し入れが多いのも特徴だったのでないでしょうか。当時食べたことも見たこともない、草鞋のように大きなステーキ肉を持ち込んだ方がいて、「これを焼いて勝手に食べさせてくれ」と言われたこともあります。私ともう一人のマネジャー(旧姓・藤原美起さん)は汗だくになってステーキ肉を焼きました。

焼く方が焼く方なら食べる方も食べ

細部眼科医院

院長 細部 泰雄 (昭和57卒)

(医学博士・日本眼科学会認定眼科専門医)

URL <http://hosobe.com>

TEL 018-883-5088

秋田市保戸野すわ町15-2

《隣設》アイ・ライフ・コンタクトセンター (コンタクトレンズ)

歯科明德町クリニック

院長 佐藤 直人 (昭和57卒)

診療時間

月 9:00~12:30 14:00~17:30
火 9:30~13:30 15:00~18:30
水・金・土 8:30~12:30 14:00~17:30
休診日 日曜日、祝日、木曜

〒010-0875秋田市千秋明德町3-48
TEL 018-832-4224

産科・婦人科・内科 川原 醫院

院長 川原 聡 樹 (昭和57卒)

秋田市手形字山崎194-1
TEL 018-833-4868



株式会社 菓子舗

榮太楼

代表取締役社長 小国輝也 (昭和57卒)

<http://www.eitaro.net>

